

「博士課程教育リーディングプログラム」中間評価結果

機関名	東京大学	整理番号	E01
プログラム名称	フォトンサイエンス・リーディング大学院		
プログラム責任者	相原 博昭	プログラムコーディネーター	五神 真

(評価決定後公表)

(総括評価)

計画を超えた取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を十分に達成することが期待できる。

[コメント]

リーダーを養成する学位プログラムの確立

中心軸の明確なプログラムが構築されており、新たな博士教育システム確立への努力が着実に実を結びつつある。最先端の講義や実験・実習などのコースワーク、国内外の研究機関や企業でのインターンシップなど、良く配慮されたカリキュラムが策定され、他の領域への横展開も意識した教育が行われている。プログラム責任者・プログラムコーディネーターの豊富な経験を踏まえた事業運営も順調である。

なお、新たな価値の創造に結びつくプログラムを有効に実施するためには、主・副の複数の異分野の教員による多様な教育機会を充実させることが望まれる。

産学官民参画による修了者のグローバルリーダーとしての成長及び活躍の実現性

大学の資源を最大限に生かし、産業界との結びつきを活用したプログラムが構築され、高いレベルの教育が提供されている。汎用力を涵養する仕組みや、研究の実用化・事業化プロセスに触れる体験も効果的に組み込まれ、学生が企業から高い評価を受けている点は特筆に価する。修了者のグローバルリーダーとしての成長・活躍が期待されるが、今後、修了者の社会での活躍状況を長期にわたって把握する仕組みの構築が望まれる。

グローバルに活躍するリーダーを養成する指導体制の整備

世界トップクラスの研究者集団の指導の下、東京大学の豊富な資源を活用した指導体制が構築され、学生達の学修意欲の向上や、視野の拡大において成果が挙げられている。海外インターンシップの機会の提供や国際ネットワーク形成によるグローバルな環境整備も進められている。

総長のリーダーシップの下で様々な委員会やプログラムコーディネーター等による会議が組織され、博士課程教育リーディングプログラムで整備された学位プログラム制度を機軸とした全学的な大学院改革も進められている。

今後、さらに多様な教育機会を提供するためにも、女性教員及び外国人教員の雇用や外部人材の活用について、これまで以上の努力が望まれる。

優秀な学生の獲得

学生の選抜において、十分な実績を積みつつあり、優秀な学生の獲得に成功している。経済的理由で博士進学を断念していた優秀な学生が進学した事例は、将来への投資として重要なことである。

さらに、学生達の視野を広げ、様々な領域での活躍を目指す人材を育てるという視点からも、留学生や他大学出身者、社会人経験者、女子学生など、多様な学生の獲得が期待される。

世界に通用する確かな質保証システム

フォトンサイエンスの世界トップクラスの研究者集団をプログラム担当者とする新たな博士教育システムは、着実に成果を挙げている。学生たちの質を保証するための **Qualifying Examination (QE)** や **Final Examination (FE)** も順調に実施され、優れた教育実績が挙げられていることが証明されつつある。

事業の定着・発展

大学全体として、支援期間終了後の恒久化に向けた現実的な対応策を構想し、着実に計画を進めている。東京大学の資源を活用した将来構想は、本プログラムの精神を具現化する先進的なモデルとなるものと高く評価できる。